

第26回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策での治水事業の促進に伴う課題と今後の展望に係る情報共有並びに国等への要望手法について	
湖南市	<p>近年、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策を柱として、3か年緊急対策に引き続き、令和3年度から予算規模15兆円により『防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策』が広く実施されていることは大変喜ばしいことである。</p> <p>こうした一方で、全国では記録的短時間大雨情報が頻繁に発表されるなど、確実に雨の降り方が変わっており、想定外を想定内とする取り組みがより求められる。</p> <p>今夏の県内においては、7月19日に近江八幡市で市道地下歩道の冠水事故、8月5日には長浜市の一級河川高時川が氾濫、その後も8月22日に甲賀市、9月2日には東近江市と日野町でそれぞれ記録的短時間大雨情報が発表されるなど、改めて治水の大切さを痛感している中、5か年加速化対策は2年目を迎え、今年度もすでに終盤に差し掛かっている。</p> <p>事業促進に伴う前倒し執行による予算不足の懸念から、令和7年度までの適正な予算配分と加速化対策後の予算確保が非常に重要なカギとなる。</p> <p>県内各市町が抱える内外水の氾濫被害を早期に解消するには、防災・減災、国土強靱化対策の一環として、県主導で改修が必要な複数河川の事業化が一度に図れるような新たな制度設計が必要であり、激甚災害時の復旧事業級の補助率となることが望まれる。</p> <p>5か年加速化対策と連携して実施できる、緊急自然災害防止対策事業の取組状況をはじめ、現在の各市町における治水上の課題について、解決策と今後の展望の情報共有を図るとともに、国に対して治水事業の促進を地方公共団体として強力に要望していく手法について、県や市町の考えを伺いたい。</p>
②令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種について	
長浜市	<p>新型コロナウイルスワクチン接種について、現在は全額国費負担となっているが、11月7日の財政制度等審議会において、接種希望者が費用の一部を負担する「定期接種」に移行するなど、見直しを求める提言をとりまとめる方針との報道があった。11月8日には、厚生労働大臣が、来年度以降の接種について、今後の感染状況や、新型コロナの感染症法上の位置づけ等をふまえながら適時適切に判断すると発言されている。</p> <p>令和5年3月末の特例臨時接種期間終了後の接種については、見通しが不透明だが、今後、来年度も年度当初から接種を実施するとなった場合に、円滑な接種の推進を図るためには、地域の医師会や病院等との協議調整や接種体制の確保に向けた準備に時間を要するため、国には早期に方針を示していただきたいと考えている。</p> <p>これらのことから、以下のとおり、各市町の状況や課題を共有し、意見交換を行いたい。</p> <p>○新型コロナウイルスワクチン接種が定期接種に位置づけられた場合の財源確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン以外の予防接種事業の定期接種にかかる費用は国が交付税措置をとっているが、国庫補助がなくなると自治体の費用負担が大幅に増加する。厳しい財政状況からも急激な負担増を抑制するため、激変緩和措置として、自治体負担分に対する補助金等の財政支援を検討いただきたい。 <p>【県に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国に対して、来年度の方針を早期に示すよう要望して欲しい。 ・国に対して、激変緩和のため市町への財政支援を要望して欲しい。 ・県として、市町への支援等を想定されているか。 <p style="padding-left: 2em;">県内の接種体制確保のため、県から市町への財政支援をお願いしたい。</p>